

学びの庭

文責 北 保志

平成二十七年五月号

先週、「風にゆらり、式年造替の春」という

タイトルの奈良新聞の記事が目にとまりました。

「春日大社の社紋である藤の花が咲き、境内をかれんに色どっている。西回廊の慶賀門を入った所にある樹齢七〇〇年以上の「砂ずりの藤」はノダフジの変種と言われ、花房が地面に届くほど長く伸びることからその名がつけられた。

なお、春日大社は二十年に一度社殿などを修理する第六十次式年造替が本格している。」という内容でした。春本番、新緑がまぶしい季節になってきました。



新学期も一ヶ月が経過

各学年、通常の学習活動に加え本校の特色ある教育活動として、朝の読書・給食準備時の読書、「わたしのけんこうにつき」による健康チェック、SIT（シヨート富雄タイム）での五教科のプリント・ドリル学習の実施を通して、しっかりと学力や規則正しい生活習慣、規範意識を身につける取組を行っています。また、昨年度から実施しています給食を通して食育を推進したいと考えています。



授業参観・学級懇談会の出席ありがとうございました

四月十七日、授業参観には多くの保護者の方々に参加いただき、二年生は新しい学年・学級の様子を、一年生は入学後約一週間の様子を参観いただきました。これから二年間、授業参観日や学校開放日などの機会には多くの保護者の方々に参観いただき、学校の様子やお子様の様子を知っていただきたいと思います。

部活動が本格的に活動

四月十三日の新入生歓迎会での部活動紹介や一年生の昇降口のポスター掲示、そして、部活動見学を経て、ボランティア部は四月三十日、その他の部は五月七日に部活動発足会を行い、本格的に全学年で部活動がスタートします。特に、一年生は、入学式の式辞で触れましたが、入

学時の四つの壁の一つで、「先輩・後輩という今までになかった人間関係の『縦の壁』を乗り越え、充実した中学校生活を送ってほしいと思います。なお、各部活動の内容については、五月十一日の部活動懇談会で説明します。



市民体育大会での活躍を期待

五月九・十日を中心に、第六十九回奈良市民体育大会が開催されます。小学生から大人まで、三十五競技二万五〇〇〇人が参加する市民スポーツの祭典で、「友情・健康・奉仕」の精神を達成することを目的に実施されます。日頃の練習の成果を十分発揮し、すべての部が優秀な成績を収められるよう全力を尽くしてほしいです。

中間テストに向けて準備を

五月二十・二十一日、一学期中間テストを実施します。日頃の学習の定着等を見るテストです。計画を立て、しっかりと学習し、当日最高の結果を出してください。

これからの時代は、学んだ知識や情報を身につけるとともに、柔軟な思考力や自ら判断する力、変化に対応する新たな知識や専門的な能力を持った人材が求められています。その土台作りのためには、毎日の学習が大切です。このテストを一つの節目として、日々の学習の復習をしっかりすることが土台作りにつながります。中間テストに向けてしっかりと準備をしてください。

五月最終週、各学年、一学期の大きな学校行事を実施

三年生は、五月二十六～二十八日の三日間、長崎方面への修学旅行、二年生は、五月二十六日、京都東山方面への校外学習、そして、一年生は、五月二十七日、くろんど池キャンプ場での校外学習を実施します。

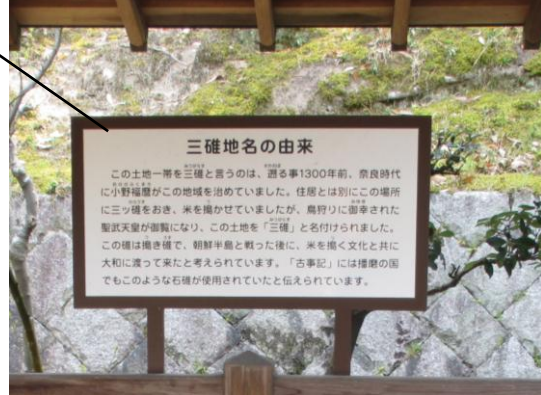
この修学旅行や校外学習は、日頃と違う生活環境・学習環境の中で、見聞を広めるとともに、自然や文化などに親しむとともに、集団生活や公衆道徳などについて豊かな体験を積み重ねる機会として実施するものです。現在、各学年では、その準備を進めているところです。持ち物等、お世話をかけますが、充実した学校行事になりますよう、ご協力をお願いします。

三碓の地名？（平成二十六年年度学校だよりから）（再掲）

学校の南東にある根聖院（こんしよういん）というお寺の中にある三つの穴が開いた石臼の横にある「三碓地名起源の石」という碑を紹介いたします。この紹介文からも、富雄中学校のある場所は、約一三〇〇年前、

聖武天皇が鳥狩りに来られた際、根聖院にある三つの穴が開いている石臼をみて、三碓と名付けられたという伝承が今まで語り続けられています。

また、根聖院をはじめ学校周辺の寺社は、とても丁寧に入力されています。それは、今までたくさんの方々を守り、受け継ぎ、残してきたからだと思います。富雄を含め奈良には、多くのすばらしいものがたくさんあります。富雄で学ぶこと、奈良で学ぶことを大切に、今後も学び続けてください。



三碓地名の由来

この土地一帯を三碓と言うのは、遡ること一三〇〇年前、奈良時代に小野福麿が、この地域を納めていました。住居とは別に、この場所に三ツ碓をおき、米を搗かしていましたが、鳥狩りに御幸（みゆき）（上皇・法皇・女院の外出）された聖武天皇がご覧になり、この土地を「三碓」と名付けられました。

この碓は搗き碓で、朝鮮半島と戦った後に、米を搗く文化とともに大和にわたってきたと考えられています。

「古事記」には播磨の国でも、このような石碓が使用されていたと伝えられています。

お知らせ

●五月十一日（月）十三時十五分～十四時五分、一・二年は授業参観と、三年は保護者説明会、十四時二十分～十五時二十分、PTA総会・職員紹介、十五時三十分～十六時十分、部活動懇談会を実施しますので、ぜひご出席くださいますようお願いいたします。